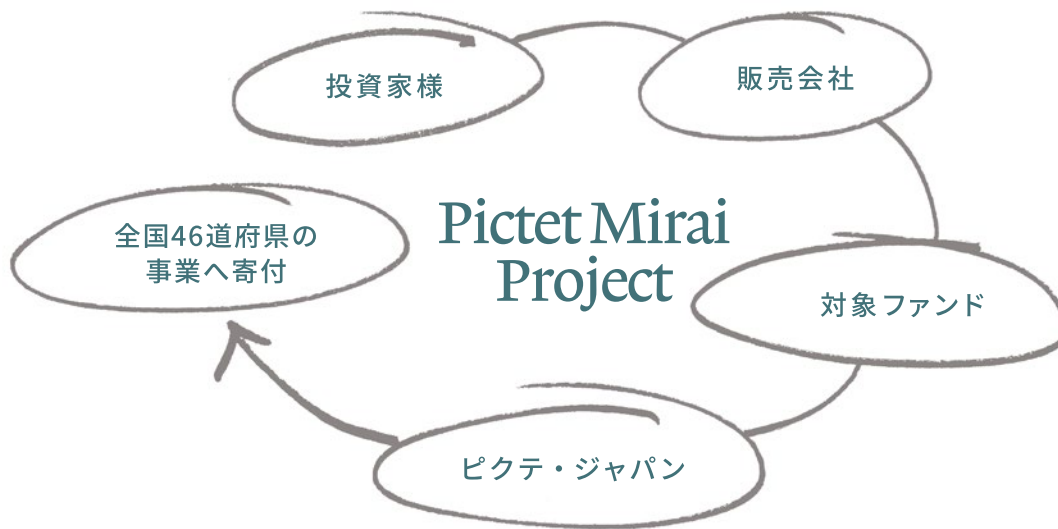


# 地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、  
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、  
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、  
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。  
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、  
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、  
46道府県<sup>注</sup>の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの  
主な寄付のテーマ



環境



教育



栄養



福祉



防災・復興

注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2022年は約5,280万円の寄付を行いました。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2023年2月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2022年度  
寄付先事業例  
長崎県



## ながさきのしま活性化プロジェクト。 高校生の離島留学推進事業に活用

「高校生の離島留学制度」は、平成15年度から全国に先駆けて県内外に広く生徒を募集してきた長崎県独自の制度で、積極的な目的意識や意欲を持った高校生に、島の豊かな自然や文化の中で学習や部活動の場を提供しており、学校活性化の契機とし、地域活力の高揚や地域振興に寄与するとともに、歴史的、地理的に関りの深い中国・韓国との交流の架け橋になる人材の育成を行っている。

### 寄付先事業例のイメージ



コースイベント 原の辻までのシーカヤック体験



埋文支援(白沙八幡宮にて発掘調査)



APU語学研修(2年)

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、  
こちらをご覧ください。

